

科目名	地理学					単位	2.0
担当教員	溝口 晃之						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1213

●授業のテーマ

地理学の観点から自然や社会をながめる

●到達目標

地理学の基礎的な知識を習得し、身近な地域に見られる様々な地理事象を空間的に把握・分析できるようになる。

●学習内容(授業概要)

地理学は地表で展開される様々な事象を総合的に理解することをめざす学問です。前半（第1回～第8回）では、様々な地理事象を地図に表現することを通して、地図に親しみます。また、後半（第9回～第15回）では、名古屋圏で見られる地理事象について、様々な地図、写真、図表を用いて解説します。

●学習内容(授業計画)

- 1 地図に親しむ①（ガイダンス、地理学の領域、東海の生活と文化）
- 2 地図に親しむ②（地図の歴史、アメリカ大リーグの球団分布図をつくろう）
- 3 地図に親しむ③（階級区分図、等値線図をつくろう）
- 4 地図に親しむ④（断面図、土地利用図をつくろう）
- 5 地図に親しむ⑤（身近な地域について、新旧の地形図を比較する）
- 6 地図に親しむ⑥（名古屋圏の人口流動を考える）
- 7 地図に親しむ⑦（外国人登録者の分布を考える）
- 8 地図に親しむ⑧（日韓の航空流動を考える）
- 9 濃尾平野の治水（木曾三川の改修、新川の開削）
- 10 近世の街道と宿場町（東海道、美濃路、津島街道）
- 11 名古屋の形成と発展（近世、近代、戦後の復興）
- 12 名古屋圏の生活空間（人口構造、商業・サービス業、時空間）
- 13 名古屋圏の交通発展（鉄道、バス、地域間移動）
- 14 名古屋圏の農業（近郊農業、特殊作物）
- 15 東海のものづくり（地場産業、自動車産業、先端技術産業）

●準備学習・事後学習の内容

日頃から、身近な地域や世界に関する地理的な話題に関心を持ち、学習内容（授業計画）に記した内容と関わりのあるテーマについて、書籍や新聞などから情報を得ておいてください。

●成績評価方法・基準

授業に積極的に参加し主体的に学んでいるか、基礎的な知識を習得できたか、の両面で評価します。その内訳は、毎回の授業後に提出するシートを45%、期末試験（筆記試験）を55%とします。

●テキスト（必携）

テキストは使用しません。授業レジュメと教育機器を用いて授業を進めます。

●参考文献／その他

参考図書は授業中に紹介します。

●履修上の注意

毎回、中学校または高等学校で使用した地図帳、色鉛筆を持参してください。